

当院を受診された患者さんへ

「当院における高齢者 FLT3 陽性急性骨髄性白血病 についての後方視的検討」 への協力のお願い

血液内科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2014年1月1日～2025年12月31日の間に、当院において、FLT3 陽性急性骨髄性白血病の診療を受けられた70歳以上の方

研究期間：岐阜市民病院臨床研究審査委員会での承認日～2028年3月31日

研究目的・利用方法：

急性骨髄性白血病（AML）において、FLT3 変異は比較的高頻度に認められる遺伝子異常であり、特に FLT3-ITD 変異は予後不良因子の一つとされております。近年、FLT3 阻害薬の導入により FLT3 変異陽性 AML の治療成績は改善しつつありますが、その多くは若年者や強力な化学療法が可能な症例を対象とした報告です。高齢者 AML では併存疾患や全身状態の影響により、強力な化学療法や造血幹細胞移植が適応とならない症例も多く、治療選択や臨床経過は多様です。高齢の FLT3 変異陽性 AML 患者における実臨床での治療内容や予後について検討した報告は限られており、当院で診療した高齢の FLT3 変異陽性 AML 症例を対象に、治療内容、臨床経過および予後について後方視的に解析し、今後の診療方針の検討に寄与できると考えます。

研究に用いる試料・情報の種類：

- 一般情報：年齢、性別、身長、体重、Performance status、合併症
- 疾患情報：分類（WHO 分類）、発症契機
- 画像検査：PET-CT、CT、MRI
- 血液・骨髄検査所見：末梢血・像、生化学一般、染色体検査、MRD
- 遺伝子解析結果（G608：造血器腫瘍における遺伝子異常の網羅的解析の研究同意取得した症例のみ）
- 治療情報：レジメン内容、用量、合併症
- 治療後情報：治療効果、再発の有無、最終転帰、生存期間

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ

合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先までお申し出ください。なお、本研究は、岐阜市民病院臨床研究審査委員会において審査・承認されております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜市民病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

連絡先

岐阜市民病院 血液内科
電話番号：058-251-1101
氏名：笠原 千嗣

研究責任者

岐阜市民病院 血液内科
氏名：笠原 千嗣

【相談窓口】

岐阜市民病院 血液内科
〒500-8513
岐阜県岐阜市鹿島町7丁目1番地
Tel：058-251-1101